

高津高校 SSH 通信



種子島・屋久島サイエンスツアー

12月24日～26日にかけて、種子島・屋久島サイエンスツアーを、参加生徒21名で実施しました。1日目はまず「屋久島環境文化村センター」を訪れ、屋久島の自然環境全般について学びました。そこからの移動途中、「永田いなか浜」というアカウミガメの産卵地域に立ち寄り、生徒たちはウミガメの卵の殻を発見していました。続いては世界遺産地域である「西部林道」を歩き、ヤクシカ、ヤクシマザルを見ることが出来ました。この日の最後は「屋久杉自然館」です。「幹と思ったら、これ、枝なん?!」と、展示されていた屋久



杉の大きさに、圧倒されました。夜には星空観測をし、インストラクターさんの解説のもと、美しい星空に、一同、感動しました。

2日目は、天気に恵まれ、約6時間の「白谷雲水峡のトレッキング」をすることができました。道中、「これが花崗岩か!」と、前日に学んだ屋久島の地質を、実物で観察することができました。また、インストラクターさんより、「屋久杉という固有種が存在するのではなく、あくまで樹齢1000年以上の杉を屋久杉と呼んでいる」「一般的な杉の寿命は500年だが、ここまで寿命が長くなる要因は、杉自体が特殊だからというよりも、むしろ、屋久島の地質や気候などの自然環境によるもの」と解説いただきました。現地において、自分の目で見て、体感しながら聞く解説は、テレビや本で得る知識よりも、より説得力のあるものでした。

3日目は、屋久島から船で種子島へ移動しました。この日のメインは「種子島宇宙センター」で、まずは施設見学バスツアーに参加しました。普段テレビなどで見ていたロケットの発射施設や、実際のロケットのパーツの一部を間近に見学し、感動しました。「宇宙科学技術館」では、ロケットの開発秘話、宇宙での生活など、具体的なエピソードたっぷりの展示施設を見学し、宇宙開発のワクワクを感じさせてもらえました。

以上、種子島・屋久島サイエンスツアーの3日間は、現地に行かないと感ずることのできない体験ばかりでした。近年、ネットや動画でサクッと情報を得ることが容易になりましたが、今回改めて現地に行くことの大切さを感じました。大自然を自分の目で見て、自然の音を聞いて、肌で感じ……と、五感をフル活用したとき、圧倒的な感動に満ち溢れました。この感動がエネルギーとなって、「もっといろんなことを知りたい!」という気持ちになれるのではないかと思います。今回のツアーに参加した生徒の中から、将来の科学者が生まれることを願っています。

